

報道関係者各位

2026 年 1 月 8 日
ソノヴァ・ジャパン株式会社

日本における小児難聴の最先端情報を専門家が発信 【第 3 回小児難聴セミナー ～テクノロジーが拓く子どもの未来～】

2026 年 2 月 11 日（水・祝）ハイブリッド開催

聴覚機器及びワイヤレス通信機器の世界的リーディングカンパニー、ソノヴァ社（グループ本社・スイス連邦）の日本法人ソノヴァ・ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：眞鍋 幸）は、小児難聴分野における最新テクノロジーと支援のあり方を考える「第 3 回 小児難聴セミナー ～テクノロジーが拓く子どもの未来～」を 2026 年 2 月 11 日（水・祝）に開催いたします。

PHONAK
life is on

日本における小児難聴の最先端情報を専門家が発信
第 3 回小児難聴セミナー
～テクノロジーが拓く子どもの未来～

ハイブリッドセミナー 無料

2026 年 2 月 11 日（水・祝）
13 時受付開始、13 時 30 分開会、17 時閉会

 <p>座長 札幌医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 高野 賢一 先生</p>	 <p>子どもの聞こえを支える スマート技術とバイモーダル補聴 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 耳鼻咽喉科 南 修司郎 先生</p>	 <p>小児から成人移行期における サポート体制の課題 社会医療法人 さいたま市民医療センター 江洲 欣彦 先生</p>	 <p>聴き取りにくさを訴える 子どもたちを支援する 県立広島病院 小児感覚器科 益田 慎 先生</p>	 <p>小児フィッティングに おける最新テクノロジーの 可能性 ソノヴァ・ジャパン(株) 鈴木 宏明</p>
--	---	---	--	---

● 開催趣旨

近年、小児難聴の領域では補聴器・人工内耳・補聴援助システムなどのテクノロジーが急速に進歩しています。とくに音声処理技術や AI の発展により、以前に比べより効果的な聞こえの補償が可能となり、教育現場や日常生活でのコミュニケーションの質も大きく向上しています。

本セミナーは、これら最新テクノロジーを正しく理解し、子どもの発達や社会参加をどのように支えていくのかを多方面から考える場として開催するものです。普段小児難聴に関わる専門家の方から、聞こえに困難を抱えるご家族の方まで幅広くご参加いただく事ができます。

本セミナーを通じ、すべての子どもたちがテクノロジーの力を活用し、自分らしく成長できる未来をともに考えていきます。

< 報道関係の方からのお問合せ先 >

ソノヴァ・ジャパン株式会社 コマーシャル統括部 マーケティング lifeison.jp@phonak.com

●開催概要

開催日時：2026 年 2 月 11 日(水・祝) 13 時受付開始、13 時 30 分開会、17 時閉会

※17 時閉会後に体験型マーケットプレイスを開催予定

対象者：主に補聴器販売従事者、補聴器に関わる医師、言語聴覚士、教員、保護者

開催場所：TODA ホール&カンファレンス東京（東京駅八重洲中央口 徒歩 7 分）

参加費：無料（会場定員 100 名／先着順に受付し定員になり次第締め切り）※オンライン視聴あり

申込方法：弊社公式 SNS およびブログより参加登録受付中（2026 年 2 月 6 日（金）締め切り）

主催：ソノヴァ・ジャパン株式会社

●プログラム

座長：札幌医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授 高野 賢一 先生

	講演内容	演者
講演 1	子どもの聞こえを支える スマート技術とバイモーダル補聴	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 耳鼻咽喉科 科長、人工内耳センター センター長 南 修司郎 先生
講演 2	小児フィッティングにおける 最新テクノロジーの可能性	ソノヴァ・ジャパン株式会社 言語聴覚士 鈴木 宏明
講演 3	小児から成人移行期におけるサポート体制の課題	社会医療法人 さいたま市民医療センター 耳鼻咽喉科 科長 江洲 欣彦 先生
講演 4	聴き取りにくさを訴える子どもたちを支援する	県立広島病院 小児感覚器科 主任部長 益田 慎 先生



高野 賢一 先生



南 修司郎 先生



江洲 欣彦 先生



益田 慎 先生

< 報道関係の方からのお問合せ先 >

ソノヴァ・ジャパン株式会社 コマーシャル統括部 マーケティング lifeison.jp@phonak.com

● こども補聴器「フォナック スカイ」について

小児専用補聴器である「フォナック スカイ」シリーズは、カラフルな本体とフックを選んで自由に組み合わせられる選択性を持ち、こどもの聞こえの環境に特化した処方式「オートセンス スカイ OS」を搭載しています。「子どもは小さな大人じゃない」という哲学のもと、小児に特化した聴覚補聴器の研究・開発チームをもつメーカーとしてのフラッグシップモデルともいえる製品です。

またフォナックでは、1998 年設立の国際的な小児聴覚の専門家や臨床家で構成される 小児アドバイザリーボード（Pediatric Advisory Board）の知見を活用し、こどもの聴覚環境に配慮した製品づくりや運用ガイドの検討を進めています。こうした外部専門家との連携を通じて、小児向け補聴技術の継続的な改善に取り組んでいます。



フォナック スカイ ルミティ

● メディア取材・お問い合わせについて

ご取材をご希望される場合は、以下の連絡先までご連絡いただきますようお願いいたします。
ソノヴァ・ジャパン株式会社 広報担当：森 メールアドレス：lifeison.jp@phonak.com

● フォナックについて

**聴こえる
彩りのある人生が。**

スイス・シュテファに拠点を置くソノヴァグループのフォナックは 1947 年に設立され、補聴器、ワイヤレス機器を開発しています。身体的、社会的、感情的に人々の人生を豊かにすることを目指して開発された多彩な製品は、世界 100 カ国以上で愛用されています。フォナックでは 75 年以上にわたり、聴覚に特化した専門技術と聴覚ケア専門家との強い協力関係の下、人々のゆたかな聞こえをサポートしてきました。これからも聴覚分野のリーディングカンパニーとして、難聴者のよりゆたかな聞こえ、しあわせな人生の実現のためにイノベーションを続けてまいります。

【ソノヴァ・ジャパン株式会社】

代表者 : 眞鍋 幸
所在地 : 〒140-0002 東京都品川区東品川 2-5-8 天王洲パークサイドビル
従業員数 : 500 名未満
HP : <https://www.phonak.com/jp/ja>
公式ブログ : <https://www.kikoeblog.jp/>